



まいだ

平成30年度

6月号

平成30年5月31日

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/maita/>

みんなで協力し合い つくりあげることのすばらしさ

校長 太田 正寿

<スローガン> 『6つのパワーで 全力 ハッピー 蒔レンジャー』

蒔田っ子の願いが届き、晴天の中、保護者の皆様、地域の皆様、PTA各委員の皆様、本校卒業生の皆様のお力添えのおかげで、運動会を無事に開催することができました。本当にありがとうございました。最後まで、たくさんの皆様に見守っていただいたこと、そして、心温まるご声援をいただいたことに厚く感謝申し上げます。

さて、運動会における蒔田っ子一人ひとりの姿は、いかがでしたでしょうか？輝いていたでしょうか？

子どもたち一人ひとりのがんばり、そして各学年のチームワークは、皆様に届きましたでしょうか？

4月より、子どもたちは本番に向けて限られた時間の中で精一杯練習をし、自分たちでつくりあげる運動会であること意識を高め、真剣に正面から向き合い、練習のつらさや苦しさを克服していく経験をしていきました。当日までに様々な思いと葛藤を乗り越えながら、子どもたちも教職員も努力してまいりました。そして、練習を重ねる中で少しずつ上達し、仲間とともに力を合わせる大切さを、身をもって感じ、友達の協力や支えがあったからこそできたという、達成感や連帯感を得ることができました。

運動会を大成功させるためのポイントは、3つあると思っています。

① チームワークを大切にすること→「one for all all for one」です。

一人ひとりが全力を出し切り、互いに協力し合い、心を一つにして演技や競技に取り組みましょう。

② 元気な声で応援すること

がんばっているみんなへ、心から大きな声で応援しましょう。みんなの応援が、がんばっている人たちの心に届き、持っている力を2倍にも、3倍にも引き出してくれます。

③ 感謝の気持ちを伝えること

いろいろな人の支えがあって、人はがんばれます。いっしょにがんばってくれた友達、何事も支えてくれた家族、厳しく、かつ温かい指導をしてくださった先生方に「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えましょう。



「ソーラン節」



「騎馬戦」

今年は赤組が勝ちましたが、運動会の「勝ち負け」というのは、得点で争うことは当然ありますが、「子どもたち一人ひとりがめあてに向かって、全力で演技や競技に取り組むことができたか？」「みんなと力を合わせてチームワークを発揮することができたか？」「友達、家族、先生方に、ありがとうの感謝の気持ちをもって取り組むことができたか？」等の見方で考えることも大切だと思います。

5・6年生の「舞い踊れ！蒔田ソーラン2018『響』」の演技から湧き出る思いは、まさにそのことです。そして1年生から6年生のすべての表現演技に共通したことであり、他の演技・競技・応援も含めて、指導者である教師が、子どもたちに運動会の取り組みを通して一番経験してほしかったことだと思います。子どもたちが今回の運動会を通して学んだことを、今後の学校生活や日常生活につなげ生かしていけるよう、今後とも全力で指導してまいりますので、よろしく願い申し上げます。

最後になりますが、保護者の皆様には、我が子がそれぞれの持ち場で、運動会に向けてどのように努力してきたのか、見ていただけたと思います。そして、子どもの成長した姿に親としての喜びや新たな期待が芽生えたことと思います。子どもたちには是非、「がんばったね。よかったよ。」と声をかけていただけると幸いです。

私たち教職員一同も、子どもたちへ「ありがとう」の感謝の言葉を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。